



アミール・ツアルファティ
[2024年5月19日 ニュース速報2]
イラン大統領死亡

<https://youtu.be/jJINneUHga4>



さて、皆さんに言うておきます。何よりも次のことを理解しなければなりません。イスラエルでは、昨夜のライシ大統領のヘリコプター墜落事故を受けて、花火は上がっていません。イスラエルでは誰も花火を打ち上げていません。しかし、実際にどこで花火が打ち上げられたか知っていますか?花火が打ち上げられ、人々が歓声を上げていた場所は

どこか?どこかわかりますか?イランです。ライシ大統領は、テヘランの殺し屋として知られていたのです。それが彼のあだ名でした。彼は80年代後半から90年代前半にかけて、何万人ものイラン人を殺害しています。彼は、意味もなく大統領に選ばれたのではありません。しかし、イランで起きたすべての暴動を思い出してください。そして彼は、改革派よりも最高指導者が好む強硬派でした。彼が死にました。私は彼の死を喜んでいませんが、非常に多くの人の命が救われたことを喜んでます。そして私は、彼のような邪悪な殺人者には、新生するか、死ぬかのどちらかのチャンスがあると信じています。そしてそれが彼の選択でした。

それから、皆さんに言うておきますが、今、彼らは間違いなくイスラエルを非難するでしょう。さて、これを見てください。準備はいいですか?イスラエルでは、ジョークが飛び交っていました。「パイロットはモサド職員で、名前は”エリ・コプター”だった。」ヘリコプターにちなんで。ハマスはこれを真剣に受け止め、ツイートしました。そしてイランのチャンネルが、それをリツイートして、その後、世界中のアラブニュースでこのことが報じられました。「エリ・コプターという名前のモサド職員が、モサドを代表してパイロットを勤めていた。」皆さん、彼らは今回の件で、それほど私たちを非難したいのです。

それから、言うておきますが、はい、私はこれについて、誰がしたとは言いません。明らかに、これは、大雨が降り、非常に霧がかかった寒い日に、非常に危険な地域の山の斜面で起こった事故でした。いいですね?結論を急ぐ必要はありません。かなり古いヘリコプター、ベル412だったと思いますが、この地形で、そのようなヘリコプターを飛ばすと、何かが起こる可能性が高いです。いいですね?でも、言うておきますが、原因が天気かどうかは関係ありません。彼らはイスラエルを非難するでしょう。それが彼らのDNAで

す。悪いことが起これば、すべて私たちのせい、良いことはすべて、彼らのせいです。彼らは私たちの死を喜び、彼らの死については、常に私たちを責めるのです。それが彼らです。それが彼らのやることです。

ですから、パイロットの名前はエリ・コプターではなく、彼は、モサド職員でもありません。そして覚えておいてください。昨夜、花火が上がったのは、テルアビブではなく、エルサレムでもなく、ハイファでもなく、ティベリウスでもなく、花火はイラン全土で上がりました。そして、この邪悪な男によって殺された何万人もの人々は、イラン人です。

さて、イスラエルに関して、ライシは聖徒だったか？いいえ、彼は私たちの破滅を望んでいました。彼は、私たちの周りのすべての代理勢力に資金を提供し、彼は10月7日、歓喜していました。しかし、彼は今、72人の乙女が待っていないことに気づきました。彼は今、物事が違って見えることに気づいています。彼が上に居るかどうかさえ、わかりません。私は下に居ると確信しています。

しかし、これだけは言うておきます。イスラエルを非難しようとする気持ちは常に存在し、それはイランや、ハマスとその支持者だけではなく、アメリカの反ユダヤ主義者たちも同様です。皆さんもそれを見てください。私はすでにオンラインで目にしました。信じられません。ですから、はっきり言うておきます。昨夜、花火が上がったのは、イスラエルではありません。イランです。ご自身で結論を出してください。良い一日を。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル



ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese> 日本語の聖書箇所は特記がさ

れていない限り新改訳 2017 より引用しています。聖書 新改訳 2017©2017 新日本

聖書刊行会メッセージの無断転載を固く禁じます。Copyright © ビホールド・イス

ラエル All Rights Reserved.
